

ちゅうおう

中央エリア

芦田川の流れによって形成されたデルタ地帯は、中世に明王院の門前町である草戸千軒町遺跡が繁栄していました。草戸千軒町遺跡は、現在の芦田川の中州に埋没していますが、日本の中世考古学の先駆けとなった記念碑的遺跡です。

江戸時代になると初代福山藩主水野勝成によって福山城が築城され、備後の政治経済の中心は現在の

市街地に移ります。勝成は上水道を敷設し、寺院を城下に移すなど、先進的な都市計画によって城下町は形成されていきます。また、現在の川口町、多治米町、曙町などの干拓が進み、福山デルタの大半は江戸時代に形作られました。



出典「国土画像情報（カラー空中写真）国土交通省」



101 福山城跡



指定種別：国史跡
所在地：丸之内
見学情報 **WC**
JR 福山駅から 300m

備後 10 万石の領主として大和郡山より転封してきた水野勝成が構築した近世城郭で、1622（元和 8）年 8 月に竣工しました。東、南、西は二重の堀をめぐらし、北は吉津川を通し、小丸山（市史跡）、天神山（松山）、永徳寺山が天然の防壁となっていました。1945（昭和 20）年の空襲でほとんど焼失しましたが、天守閣は 1966（昭和 41）年に再建され、福山城博物館になっています。

102 福山城伏見櫓



指定種別：国重要文化財
所在地：丸之内
見学情報
限定公開 要問い合わせ
福山市教育委員会文化財課
☎(084)928-1278

福山城築城にあたり 1622（元和 8）年に将軍徳川秀忠より京都・伏見城の一部を拝領し、移築されたと伝えられています。1954（昭和 29）年の解体修理の際、梁の陰刻に「松ノ丸ノ東やぐら」とあるのが発見され、移築の伝承が明らかになりました。慶長年間（1596～1615）のすぐれた建築様式を残しており、伏見城から移築された遺構としてもきわめて価値の高いものです。

103 福山城筋鉄御門



指定種別：国重要文化財
所在地：丸之内
見学情報
上層の内部見学はできません。

福山城本丸の正門で、伏見櫓と共に伏見城から移築したものとされています。下層の各柱には根巻き金具を付け四隅に筋金具を打ち、鏡柱の見付けと見込みに大小の乳金具を打ち付けています。門扉は内開き二枚建てで 12 条の筋鉄を釘打ちし、乳金具を飾っています。上層は正面左端に出入口を設け、内部の床は拭板敷きになっています。

104 福山城鐘櫓



指定種別：市重要文化財
所在地：丸之内
見学情報
内部見学はできません。

築城当時の福山城絵図面にも描かれている建物で、上層にある鐘は城下や近隣の村々に「時の鐘」を告げ、緊急時には城下の武士を召集する太鼓も備えていました。明治時代以降は荒廃していましたが、1979（昭和 54）年に、屋根の銅板葺きを除いて元の姿に復元されました。城地内に鐘櫓が所在するのは全国的に珍しい例といえます。

105 福山市福寿会館



登録種別：国登録有形文化財
所在地：丸之内
見学情報
JR 福山駅から約 450m
見学・貸館は福寿会館事務所
☎(084)923-1516 に連絡

「経節王」といわれた安部和助が別荘として昭和初期に建築した建物です。洋館・本館・西茶室・南茶室・西蔵・東蔵の 6 棟が国登録有形文化財で、福山城天守閣を借景としてみごとな庭園が広がります。木造一部 2 階建の洋館は、急勾配の瓦葺き切妻屋根にモルタル塗りの外壁で、ヴェネチアルネサンス風の疑似窓装飾や柱の装飾などが特徴的です。

106 旧内藤家長屋門



指定種別：市重要文化財
所在地：丸之内
見学情報
JR 福山駅から約 400m

福山城の西外堀に面した場所にあった内藤家の長屋門で、1976（昭和 51）年に現在地に移築されました。長屋門は中央に入口の引戸を設け、東側に二間、西側に一間と土間があり、使用人の住居として使用されていました。城下町にあった藩政時代当時の武家屋敷を偲ばせる長屋門として貴重なものです。

107 福山城跡小丸山



指定種別：市史跡
所在地：丸之内

福山城は東、南、西に二重の堀をめぐらせていましたが、北側には人工的な防護策施設はなく、小丸山・天神山・永徳寺山が天然の防壁となっていました。小丸山・天神山の北側は、1868（慶応 4）年の長州軍による福山城攻撃に備えて胸壁が築かれました。現在、小丸山は先人の森と呼ばれ、水野勝成、江木鱒水などの碑が建っています。

108 福山城三之丸西御門櫓台跡・三之丸北御門外柵石壁跡



指定種別：市史跡
所在地：三之丸町・丸之内

（北御門外柵石壁跡）

福山城は、明治時代に三之丸に福山駅が作られたこともあり、当時の石垣が現在の市街地地下に残っていることも多く、広島県立歴史博物館の南側、鉄道高架下に残る櫓台は、1971（昭和 46）年新幹線工事に伴う発掘調査後、原位置に保存されたものです。また、北御門東側に接する外柵の石垣は、城郭の配置や規模を知る上で重要な遺跡です。

109 明王院本堂

みょうおういんほんどう



指定種別：国宝
所在地：草戸町
見学情報 **P** **WC**
JR 福山駅から約2km
内部見学はできません。

明王院は現在真言宗大覚寺派ですが、もとは常福寺といい律宗の寺院で、807(大同2)年弘法大師の開基と伝えられ、江戸時代に藩主が城下にあった明王院を移転合併しました。1962・63(昭和37・38)年に実施された解体修理により、鎌倉時代の1321(元応3)年の墨書が発見され、瀬戸内海地域では最も古い建物の一つとして貴重なものです。厨子は春日厨子で扉の内側に蓮を描いた美しいもので、木造十一面観音立像(国重文)を収めています。

110 明王院五重塔



指定種別：国宝
所在地：草戸町
見学情報
内部見学はできません。

伏鉢の銘によると、1348(貞和4)年に一文勤進の小資を積んで造られた南北朝時代を代表する建築で、全国屈指の古さを誇っています。内部は精麗な壁画と文様があり、特に四方の壁画に描かれた真言八祖行状図、四天柱の金剛界三十七尊、長押(なげし)・天井などには唐草文・花鳥・飛天などが描かれ、当初の彩色をこれほどよく残した塔は他に類例がなく注目されます。

111 明王院山門

さんもん



指定種別：県重要文化財
所在地：草戸町

1614(慶長19)年の再建ですが、その創建はさらにさかのぼると思われます。現在の山門の建築材は新旧二様の材料に分かれ、建物上部の斗拱・軒などは新様で、旧様は軸部の柱・腰長押・台輪などに見られ、室町様式の木割を残す雄大で豪壮な門です。なお、降棟に籠頭瓦を乗せており、鞆町安国寺釈迦堂の屋根の瓦よりやや小形で珍しいものです。

112 明王院庫裏

くり



指定種別：県重要文化財
所在地：草戸町
見学情報
内部見学はできません。

書院とともに水野勝成によって再建されたものと伝えられ、建物にその痕跡が認められます。小屋組は古式で規模も雄大で、書院形式の初期の技法をとっています。特に玄関や板敷き広間の天井は小屋組を露出させ、淡彩の山水・花鳥・動物を襖に描くなど江戸時代初期の風格を示しています。1963(昭和38)年に書院とともに解体修理されました。北側にある護摩堂は市重要文化財に指定されています。

113 明王院書院



指定種別：県重要文化財
所在地：草戸町
見学情報
内部見学はできません。

小屋組は古式で手法も古く、1間ごとに柱を建てた書院形式初期の技法を用いた江戸時代初期の建築です。建物の平面が田の字に区切られた4部屋からなり、回りを広縁と廊下で取り囲んでいます。北側の8畳は貴賓の間で、床・棚・付書院を備えており、1656(明暦2)年に徳川家光の位牌堂に転用されましたが、1963(昭和38)年の解体修理で元の姿に復元されました。

114 明王院鐘楼

しょうろう



指定種別：市重要文化財
所在地：草戸町

面取り角柱を方形の礎石上で内側に傾斜をつけて建てたいわゆる四方転びの建て方で、特に各柱を内側に弯曲させているのが特徴です。建立は棟札により1647(正保4)年福山初代藩主水野勝成隠居後の宗休の建立とわかり、鐘は1657(明暦3)年福山3代藩主水野勝貞の寄進によるものです。江戸時代初期の雄健な手法を示す建造物です。

115 墓石群



指定種別：市重要文化財
所在地：草戸町
(明王院境内)

1930(昭和5)年の芦田川改修中に法音寺橋付近から出土した五輪塔・宝塔・板碑・宝篋印塔を移したものです。五輪塔は小型のものが多く、宝篋印塔は隅飾(すみかざり)突起が直立する古式のものもあり、板碑は一石五輪塔型のもので、鎌倉時代から室町時代のものと考えられます。

116 福山市旧佐波浄水場

さば



登録種別：国登録有形文化財
登録建造物：配水池・浄水井
上屋・門
所在地：佐波町
見学情報 **P**
開場日時/常時、入場料/無料
経路/国道2号神島橋西詰めより
明王台団地方面へ約530m坂道を
登る。

1925(大正14)年9月に竣工した近代的浄水場です。1916(大正5)年に市制施行した福山市は、これまで度々水不足に悩まされた経験から、新しい上水道の建設が悲願となっていました。この上水道は、福山市で初の近代的浄水場として建設され、人口増加を遂げていた福山市が近代都市へ発展するための基礎となりました。現在は、佐波城山公園として一般に公開されています。

117 草戸愛宕神社本殿

くさどあたごじんじや



指定種別：市重要文化財
所在地：草戸町
見学情報
JR 福山駅から約 2km
内部見学はできません。

1628 (寛永 5) 年創建の愛宕神社は、明王院裏山に鎮座する同寺の鎮守社でしたが、明治の神仏分離により現在は草戸稻荷神社に属しています。本殿は覆屋内に納められており、宝形造の前面に縦向拝（すがるこはい）があり、唐破風（からはふ）付、桧皮葺（ひわだぶき）の複雑な屋根の小社です。部材が精巧な意匠となっており、江戸時代初期の趣をよく残しています。

118 福山誠之館高等学校記念館

ふくやませいしかんこうとうがっこうきねんかん



登録種別：国登録有形文化財
所在地：木之庄町
見学情報
JR 福山駅から約 1.4km
内部見学はできません。

1855 (安政 2) 年福山藩の藩校として西町道三口（現ローズコム付近）に開校された時の玄関部分と 1933 (昭和 8) 年に三吉町（現 県合同庁舎敷地）に移築された時に増築された主屋とを組み合わせたものです。唐破風の玄関と入母屋造りの主屋が巧みに融合しており、当時の造形の規範となるものです。1969 (昭和 44) 年に現在地へ再度移築されました。

119・120 観音寺本堂／観音寺表門



指定種別：県重要文化財
所在地：北吉津町
見学情報 **P**
JR 福山駅から約 600m
内部見学はできません。

本堂は、福山城の築城に際し、城郭の東北端、長方向の鬼門守護のために建立されたと推定される寺院で、1651 (慶安 4) 年建築の棟札があります。和洋・唐様・天竺様の手法が用いられた折衷様式の建築です。装飾手法は桃山時代の建築装飾の流れを引いており、県内に残存する近世唯一の本格的な密教寺院の本堂です。

表門は、四脚門、切妻造、本瓦葺で、本堂と同じ時期に建てられたと考えられます。妻飾りや柱の装飾には丁寧な彫刻が施されており、桃山建築の遺風がうかがわれるなどの特色がみられます。

121 水野勝成墓

みずのかつなりほ



指定種別：県史跡
所在地：若松町（賢忠寺境内）
見学情報
JR 福山駅から約 800m

水野家墓地は賢忠寺の北側にあり、勝成のほか父忠重、三代勝貞、四代勝隆などの墓があります。福山藩の初代藩主となった水野勝成は、福山城の築城、新田開発、治水事業、神社仏閣の整備など積極的に領内の治政にあたりました。1639 (寛永 16) 年家督を勝俊に譲り、1651 (慶安 4) 年に 88 才で死去しました。墓には高さ 5.1m の巨大な五輪塔が建てられています。

122 水野勝俊墓

みずのかつとしほいき



指定種別：市史跡
所在地：北吉津町
（妙政寺墓地）
見学情報
JR 福山駅から約 1km

勝俊は福山藩二代藩主で、1598 (慶長 3) 年備中国成羽に生まれ、1639 (寛永 16) 年に 42 才で家督を相続します。勝成の事業を継承して領国経営の基礎である土木普請を着々と進め、1655 (承応 4) 年 58 才で死去します。勝俊は日蓮宗に帰依し、妙政寺の大檀越になっており、妙政寺に葬られました。墓は巨大な五輪塔で、墓前には七人の殉死者の墓が並んでいます。

123 田辺寺塔跡

てんべいじとうあと



指定種別：県史跡
所在地：津之郷町津之郷
（田辺寺境内）
見学情報
JR 備後赤坂駅から約 2km

南に張りだした低丘陵上に位置し、現在の田辺寺の南に接する畑から多量の古瓦類とともに九輪、風鐸（県重文）などが出土したことから、塔跡があったと推定されています。中心礎石は田辺寺境内に移されています。伝承では 721 (養老 5) 年開基の和光寺跡と伝えられており、出土した軒丸瓦、軒平瓦は平安時代の特徴を示しています。

124 宝篋印塔

ほうきょういんとう



指定種別：市重要文化財
所在地：赤坂町
（赤坂八幡宮境内）

高さ 2.35m の花崗岩製で、塔の基盤には四面に蓮の花をかたどった格狭間（こうざま）が刻まれ、塔身には梵字（ぼんじ）のようなものが薄肉で彫られています。相輪の形状と全体の均整が程よく整い、形の美しい塔です。銘はありませんが、南北朝時代の作と考えられます。

125 イコーカ山古墳



指定種別：市史跡
所在地：赤坂町
見学情報
JR 備後赤坂駅から約 400m

赤坂の平野部の北縁部、津之郷町加屋から南に延びる丘陵の先端部に造られた直径約 10m の円墳で、墳丘には円筒埴輪を二重にめぐらせています。内部主体は未調査のため不明です。かつては南西に続く丘陵に 4 基からなる池下山古墳群がありました。古墳の西裾には室町時代と考えられる宝篋印塔が祀られています。

126 さかべ 坂部4号古墳



指定種別：市史跡
所在地：津之郷町津之郷

津之郷の平野部北側、南に延びる丘陵には平野を見おろす形で、数多くの古墳があります。坂部には4基の古墳が確認されていますが、いずれも横穴式石室を有する後期古墳です。この古墳の内部主体は花崗岩を使用した全長 8.13m、奥壁部幅 1.64m、高さ 1.3mの無袖の横穴式石室です。側石が天井部に近づくに従って狭くなる持ち送り積みという石積みとなっているのが特長です。

127 いわ スベリ石1号古墳



指定種別：市史跡
所在地：赤坂町

津之郷町本谷・坂部古墳群より西の丘陵に連なる古墳群の中の1基です。墳丘は直径 13m、高さ 5mの円墳で、内部主体は花崗岩を使用した玄室長 5.5m、高さ 2.5m、奥壁部幅 2.0m、羨道長 4.0m、幅 1.5m、高さ 1.3mの片袖式横穴式石室です。津之郷・赤坂周辺では最大級の規模を有する後期古墳です。

128 ほんだに 本谷1号古墳



指定種別：市史跡
所在地：津之郷町津之郷

津之郷町本谷の丘陵には、横穴式石室を有する後期古墳が6基確認されており、この古墳はその中の1基です。墳丘は封土を失い形や規模は不明です。内部主体は花崗岩を使用した全長 8.85m、奥壁部幅 1.99m、高さ 2.3mの無袖の横穴式石室です。奥壁は一枚石で、側壁は持ち送りとなっており、銀環 1、須恵器、勾玉 3 が出土しています。

129 本谷弥生遺跡



指定種別：市史跡
所在地：津之郷町津之郷

津之郷の沖積平野の北辺部に位置し、かつてはこの付近まで海が湾入していたと考えられます。戦前に津之郷小学校校門脇に防火用池を造成していたところ、中国新の王莽の時代に鑄造された貨泉（市重文）が出土しました。その後の調査でも、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器が出土しており、長い期間にわたり大規模な集落が形成されていたことが考えられます。

130 かまや 釜屋1号古墳



指定種別：市史跡
所在地：箕島町釜屋

芦田川河口東側、標高約 58mの茶山にあった古墳群の一つです。石材採取のため奥壁、側石の一部、天井石 1 枚だけが残っており、墳丘は墳形・規模ともに不明です。内部主体は花崗岩を使用した南西に開口する奥壁幅 2.3 m、奥行 4.05mの横穴式石室です。出土遺物には単鳳環頭柄頭（市重文）があり、この地域の盟主的人物を葬った後期古墳と考えられます。

131 みのみま 箕島のラカンマキ



指定種別：市天然記念物
所在地：箕島町

ラカンマキはマキ科マキ属の常緑高木で、目通り周囲 3.3m、樹高約 18mの巨木で、地上 3.5m付近で 3 本に分岐しており、樹勢は旺盛で推定樹齢 400 年といわれ、地域の人々の目じるしとして親しまれています。

132 福山城博物館



所在地：丸之内一丁目8番

見学情報 WC

開館時間／9:00～17:00（入館は 16:30 まで）、休館日／月曜日（祝・休日の場合は翌日）・年末、観覧料 200 円（160 円）高校生以下無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体 ※特別展観覧料は別途 ☎(084)922-2117

福山城天守閣が再建される際に、生涯教育の場として城内に設置された博物館です。福山旧市域の原始・古代・中世の遺跡からの出土品や、福山歴代藩主の水野家・阿部家に関する書画・甲冑等を展示しています。近世からスタートし、階を登るごとに徐々に時代が古くなるという構成で展示しており、福山に関する歴史や文化をたどりながら紹介しています。

133 ふくやま草戸千軒ミュージアム（広島県立歴史博物館）



所在地：西町二丁目4番1号

見学情報 P WC 輪

開館時間／9:00～17:00（入館は 16:30 まで）、休館日／月曜日（祝・休日の場合は開館）・年末年始、入館料／一般 290 円（220 円）、大学生 210 円（160 円）、高校生まで無料、※（ ）内は 20 名以上の団体、※企画展・特別展の観覧料は別に定める。 ☎(084)931-2513

中世の港町であった草戸千軒町遺跡を中心に、瀬戸内の交通・交易及び民衆生活に視点を当てた活動をしています。なかでも、草戸千軒の町並みを実物大で復元した展示は全国的にもユニークで、その周囲には国重要文化財の指定品を中心に、草戸千軒町遺跡からの出土品を展示しています。

134 歴史資料室



所在地：露町一丁目10番1号
まなびの館ロースコム4階

見学情報 P WC 輪

開館時間／10:00～18:00
休館日／月曜・祝日・年末年始
入場料／無料

『東京阿部家資料』の調査・研究・保存・活用を図るとともに、展示や資料目録作成により福山市の歴史啓発活動を行っています。